軽井沢ライフのための情報紙 ● Karuizawa News Paper　No.177（毎月10日頃発行）

軽井沢新聞

3月号　March 2018

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27
身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語

sakumo 佐久市子ども未来館館長
ワークショップエンターテイナー

なおやマン（島﨑直也）さん

参加体験型のヘンテコショーで、毎日の当たり前をワクワクに

「身の回りの当たり前のことも、ちょっと違った視点で見ると、ワクワクに変わることを体験してほしい」

妻のしま：アイ（島﨑アイコ）さんとともに、子どもや親子向けの参加体験型ワークショップやショーを企画、実施している。小びとや妖精を登場させるなど、ヘンテコ要素を取り入れ、面白おかしく進めるのが二人のショーのスタイルだ。

「アイルランドでは、シャワーからお湯が出なかったり、ちょっとイヤなことがあっても『妖精のせい』と笑って済ますことがあるらしいんです。その考え方、すごくいいなと思って。非現実的な存在など想像力を使うことで、見方が変わって、ぐっと楽しくなることってあると思います」

2016年から佐久市子ども未来館の館長を務める。親しみやすい同館の愛称を公募したり、プラネタリウムで演劇したり、新たな企画を次々と打ち出している。

「今よりもっともっと地域の人を巻き込んで、子どもと一緒に楽しみながら、佐久市の課題を解決していく拠点にしていきたいですね」

東京都板橋区出身。学習院大学理学部化学科卒業後、横浜市にあった東京ガス環境エネルギー館（2014年閉館）で3年間、教育プログラムの企画運営を担当。結婚と転職を機に2003年、移住した軽井沢は「すぐ近くに草むらや川があって、子育ての環境にすごくいい」。

2005年から軽井沢中部小発明科学クラブの講師を務める。児童が廃材を持ち寄って、身の回りの困りごとを解決する発明品を考え創作している。

「子どもたちの枠にとらわれない発想は、毎回勉強になりますね」

小学3年と0歳の男児の父。これまで向き合ってきた多くの子どもたち同様、我が子からも毎日、大きなものを得ているという。

「学校や習い事以外の場所、社会の枠に当てはまらない場所で、輝ける子って沢山いると思うんです。そういう子の力を生かし育む場所が必要だなと、息子たちを見ていると強く感じます」

ピンクの衣装にモヒカンがトレードマーク。ピンクに特別深い意味はなく、単純に好きなだけ。

「人混みに紛れても見つけやすいし、洗濯物で家がすぐわかる（笑）」

身の回りのもの、こと、ひとに関心を持って、お互いを尊重し合える社会へ。なおやマンのワクワク創出の旅は終わらない。

平昌へ届け！ 軽井沢は応援ムード一色に
SC軽井沢クラブ初五輪

帰国後、町役場を訪れたSC軽井沢クラブの選手、コーチ、トレーナー。

日本男子として長野大会以来、20年ぶりの五輪に臨んだカーリング日本代表のSC軽井沢クラブは、予選リーグ4勝5敗の8位で平昌五輪を終えた。スキップの両角友佑選手は帰国後、「まだまだ上を目指せると感じたし上に行きたい」と、2022年の北京五輪に向け飛躍を誓った。

一喜一憂しながら観戦

軽井沢町主催のパブリックビューイングは7試合で実施し、のべ700人が軽井沢アイスパークの大型スクリーンで観戦。参加者は「ゴーゴーニッポン」と声援を送り、局面が変わるごとに一喜一憂した。準決勝進出の可能性を残した、韓国との予選リーグ最終戦を見届けた両角兄弟の祖父、両角幾夫さんは「ご苦労さん。また4年後もあるんだから、頑張ってほしい」と労った。

駅、役場に出迎え650人

選手・コーチらは2月27日、軽井沢町に帰郷。軽井沢駅自由通路、町役場駐車場では町民、関係者ら計650人が集まり、ハイタッチや握手を交わしながら「おかえり」「おつかれさま」と声をかけた。

2試合を現地で観戦した町長は、報告に訪れた選手を前に「負けた試合もほとんど紙一重。強くなったと実感した」。また、日本女子が銅メダルを獲得するなど、カーリングへの注目が集まっていることから「競技人口の増加に向け、先頭に立って大きな役割を果たしてもらいたい」と、期待を寄せた。

その後の会見で、清水徹郎選手は、多くの声援の中で試合ができたことに「選手として幸せ。応援してくださった全ての方に『ありがとうございました』と伝えたい」。山口剛史選手は「自分の実力、練習の成果を十分に発揮できたのは自信になった」と、大舞台でも戦える手応えを口にした。両角公佑選手は、「当然悔しい思いはある。次に向かってまた一から努力したい」。平田洸介選手も「4年後、またその先の競技人生に生かせるように、明日からしっかりと練習していきたい」と力を込めた。

報告会「一緒に、北京へ」

軽井沢町は3月2日、五輪報告会を開催。集まった約420人を前に、選手は応援への感謝、今後の抱負を語った。質問に答えるコーナーで、チームの応援団長を務める佐藤一郎さんは「4年後の北京五輪に連れていってくれるか」と質問。両角公佑選手が「さらに上を目指したいという気持ちは強い。一緒に北京に行きましょう」と応えると大きな拍手が起こった。報告会に参加した軽井沢中2年、カーリング部の浅野尊君は、「自分じゃ決められないショットを軽々と決めていてすごかった。選手たちに近づけるようがんばりたい」と話した。

浅田真央さんのアイスショー開催

バンクーバーオリンピック銀メダリストの浅田真央さんが6月2・3日に軽井沢風越公園アイスアリーナでアイスショーを行う。「浅田真央サンクスツアー」と題して、これまでの応援への感謝を込めて全国を回るという。過去に浅田さんが滑ってきたプログラムをキャストスケーターたちとメドレー形式で披露する予定。問合せ：長野放送事業部 TEL026-227-3000　チケット発売日等詳細は https://www.nbs-tv.co.jp/ まで。

軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ
※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。
三井のリフォーム5つのお約束
1.お客様のご要望をすべてお聞きします。
2.資格の無い監督には任せません。
3.追加工事はお客様のご確認いただいた後で。
4.価格以上の満足をご提供します。
5.今まで過ごされた思い出を大切にします。
リビングダイニング　寝室・和室・書斎　洗面・トイレ　キッチン・浴室　外観・エクステリア　水漏れ・雨漏り
あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。
軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業
リフォーム一筋20年
都市に豊かさと潤いを 三井不動産グループ 三井のリフォーム® 軽井沢店
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42〈営業時間〉9:00～18:00
見積り無料!!　悩んでいないで、まずはお電話ください！ (0120)278-321
リフォーム専門店の私たちにおまかせください!!
一級建築施工管理技士 店長 秋山 勇　リフォーム一筋20年 中島 祐司　2級建築士 花里 邦子　笑顔のリフォーム応援団 草間 こず江
全国第1位の社長表彰をいただきました。
WEBで検索！ 三井のリフォーム軽井沢店 検索
ホームページが新しくなりました。
www.karuizawa-reform.com
メール karuizawa@mitsui-reform.com
三井のリフォーム軽井沢店 軽井沢高校 軽井沢警察署 国道18号線 至小諸 長野新幹線 しなの鉄道 至軽井沢駅 国道18号線軽井沢高校となり

信州大学と共同研究が始まりました。
今年から私の母校である信州大学工学部の建築学科と共同研究を始めました。共同研究する期間は3年程度で主な研究目的は…
「さらに快適で最も省エネな暖かい家を建築する事」です。
佐久市でモデルハウスを建築し、その建物を24時間測定していきます。
当社は地元の小さな会社ですが、家づくりの情熱や真剣さは、大手ハウスメーカーに負けたくありません。「1ランク上の住宅を建築するため」この共同研究に取り組みます。
これからも、毎月ホームページなどで研究の状況をお伝えしていきます。ご期待くださいね！
大井建設工業株式会社 代表取締役社長 大井康史
左から弊社設計広瀬、大学院1年堀部君、中谷助教、高木教授、大井
ホームページで研究状況をお伝えします。ご期待ください！
www.kosodate-ouen.com
大井建設工業 子育て世代の安くていい家 専門店 株式会社
■本社／御代田町馬瀬口1670-74 TEL0267-32-3333(代) ISO 9001 認証取得
0120 FreeDial 0120-33-4152
メールの方は vip@ooi-kensetsu.co.jp